

【注意事項】ご入稿前に必ずお読みください。

- 印刷入稿データは、Adobe illustrator 形式ファイルのみ受付可能です。
- illustratorのバージョンは Creative Cloud まで対応可。
- データのカラーモードはすべて「CMYK」です。特色やRGBでのデータをご入稿された場合は、**すべてCMYKに変換しての印刷**となりますので、データと仕上がりの色味が大きく異なる場合がございます。
※原則的にデータチェック対象外になりますのでご注意ください。

- 本体のツメと台座は、**形状が固定です(拡大・縮小不可)**。

- **本体のカットラインはツメと繋がるようにご製作ください。**

- スタンドパーツを穴に差し込む際に若干ゆるく感じる場合がございます。
仕様上、完全に固定される状態ではございませんので、あらかじめご了承くださいませ。
また、穴がきつくても、抜き差しを繰り返しますと穴から抜けやすくなりますので、ご注意ください。

- 白ベタは必ず白ベタレイヤーに配置し、「**K100%**」で作成してください。

- 両面印刷の場合、デザインによっては裏面が透けて見える場合がございますので、あらかじめご了承ください。
→データ作成についての詳細説明は2ページ目、3ページ目をご覧ください。

Illustrator でのデータ制作

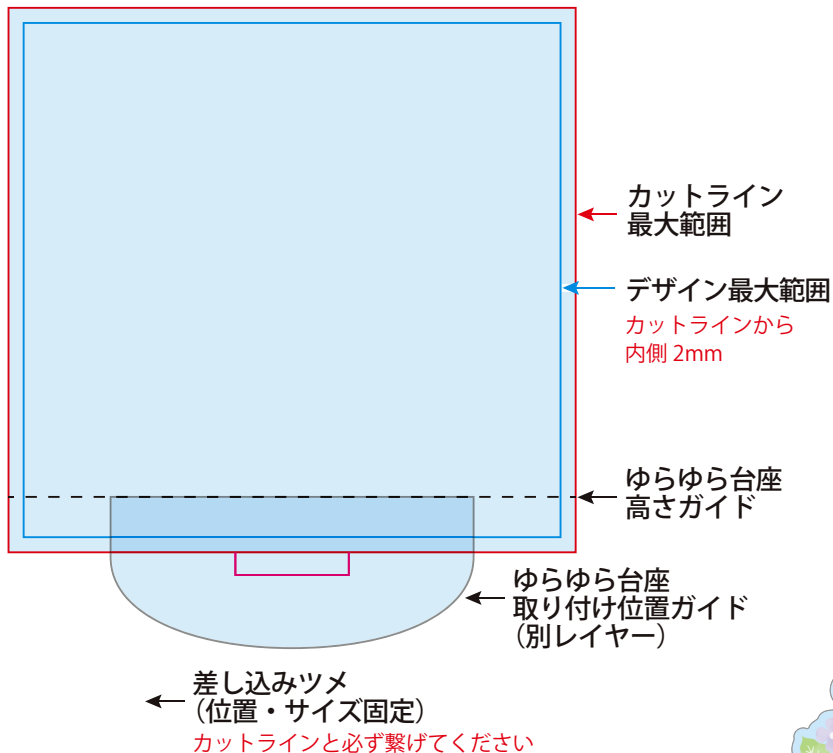
- **フォントは必ずアウトライン処理**を行ってください。
- データに画像を使用した場合、必ず「**画像の埋め込み**」を行ってください。
- 配置される**画像データの解像度は、原寸の画像サイズで最低300dpi (推奨は350dpi)**を推奨しております。
※低解像度の画像を配置されている際、原則的にデータチェック対象外になりますのでご注意ください。
また、画像データが低解像度による仕上りの品質に対しての責任は負いかねますので、ご了承ください。

著作権・肖像権の取り扱いについて

「著作権・肖像権の侵害」に該当する内容のものに関しては印刷をお断りさせて頂いております。
弊社にて「著作権・肖像権の侵害」の可能性があると判断した場合、ご注文をキャンセルさせて頂きます。

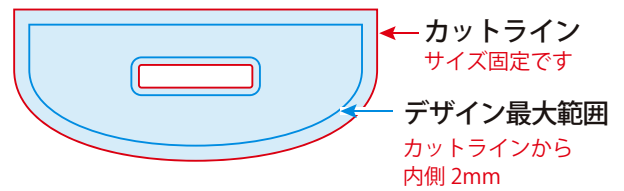
テンプレートデータの各項目について

本体

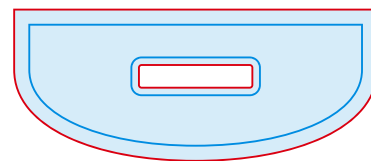


台座

右

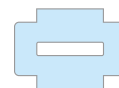
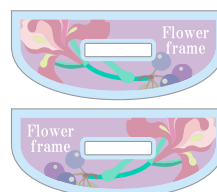


左



仕上がりイメージ

組み立て時



←組み立てパーツ
(印刷なし)

※カットラインは拡大・縮小しないでください。

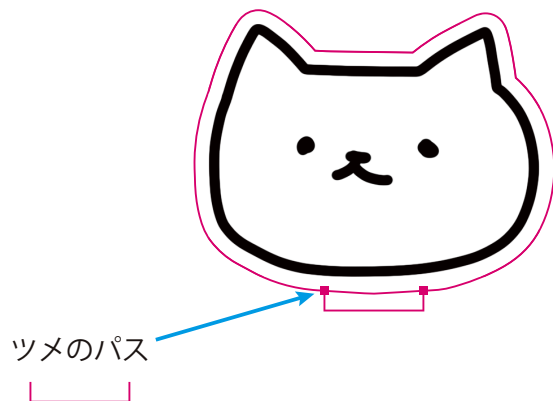
カットパス作成上の注意点

- カットパスは必ずカットパス用レイヤーに作成してください。
- カットパスは一筆描きの、線が交差しない閉じた図形で作成してください。オープンパスはデータ不備となります。
- 「効果」メニューの「スタイライズ」での角丸は、カットに反映されません。カットパスはフィルタ等を使用せず実線のみで作成してください。(※複雑な切り抜きは不可能な場合があります。ご注文の前にお問い合わせ下さい。)
- パスは、できるだけアンカーポイント数と角の少ないなめらかな線をお願いいたします。

白ベタ作成上の注意点

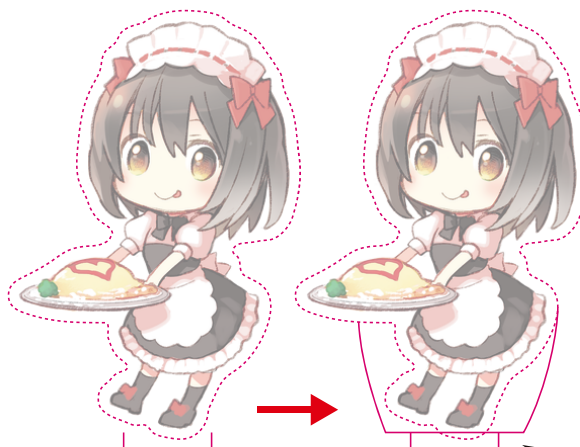
- 白インクの使用には、白ベタ用のデータを白ベタレイヤーに制作が必要です。
- 白ベタ用のデータは、「K100%」で作成してください。
- ぼかし・グラデーションのような濃度差を表現することはできません。必ず濃度 100% での出力となります。
- 白ベタ用のデータは、マスクを使用して制作しないでください。
- デザイン上、部分的に抜きになされたい場合、黒ベタの上にホワイトのオブジェクトで配置し抜きを表現せず、必ず配置されているオブジェクトが「K100%」のみが配置されているように「抜き」でご制作ください。

●スタンドパーツのデータ制作



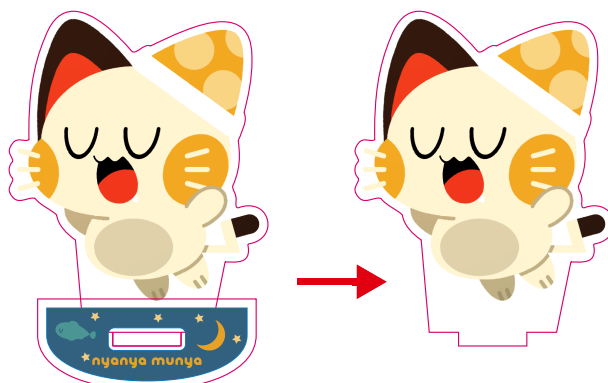
ご製作いただいたカットラインパスに、「ツメ」のパスの上部分が接するように配置し、パスを合体します。

※ツメのパスは拡大・縮小しないでください。



カットラインの高さや幅が足りない場合は、上記のようにスタンドパーツに完全に接するようにカットパスを調整してください。

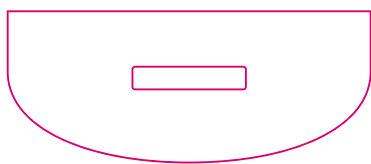
水平部分があると安定感が増します



本体の絵柄をゆらゆら台座から浮かせるデザインの場合は、必ずパスを伸ばしてツメのパスに合体させてください。

●台座のデータ制作

サイズは左右共通・左右対称です。
カットライン固定です。変形しないでください。



カラー版



白ベタ（部分白ベタも可能です）

